

募集要項・学校ガイド

Requirements & School Guide

2027

専門学校 静岡電子情報カレッジ

文部科学省「専門士」称号、「大学編入学」資格付与認定校

文部科学省「職業実践専門課程」、「高等教育修学支援新制度(授業料減免)」認定校

文部科学省「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」認定学科

厚生労働省「教育訓練給付制度」認定校

「インターネット出願」実施

設置学科

AI × DX Produce

AI×DXプロデュース専攻科

IT Game & Robot System

ITゲーム&ロボットシステム学科

ITスペシャリスト研究 *It Specialist st.*

ロボットシステム研究 *Robot System st.*

ゲームシステム研究 *Game System st.*

Sound & Visual Media Create

音響&映像メディアクリエイト学科

音響エンタメ研究 *Sound Entertainment st.*

映像メディア研究 *Visual Media st.*

なりたい自分になる!

CAN

Computer Academy Nakamuragakuen

CONTENTS

I 建学の精神、校訓、教育方針	2
II 本学の特色・日課表	3
III 本学独自のリーダーづくり CANスカラシップ制度	4
IV 募集学科・教育内容	5
PICK UP ▶ 産学官連携教育プログラム・事例紹介	
AI×DXプロデュース専攻科	6
ITゲーム&ロボットシステム学科	7
ITスペシャリスト研究	
ロボットシステム研究	
ゲームシステム研究	
音響&映像メディアクリエイト学科	9
音響エンタメ研究	
映像メディア研究	
V 入学選考・出願、併願制度	11
A 入学選考	
1. AO入学選考	11
2. AO入学選考以外の入学選考共通要項	13
(1)指定校推薦選考	
(2)上記以外の選考方法	
I 特待生選考	
II 自己推薦選考	
III 一般選考	
IV 社会人選考	
V 留学生選考	
(3)入学選考日程	
(4)併願制度について	
B 出願における注意事項	15
C 入学選考における注意事項	
D ステップアップレッスン・オリエンテーションについて	
E 留学生 入学資格について	16
PICK UP ▶ ・インターネット出願について	16
VI 奨学金制度	17
①本学オリジナル奨学金	
②公的奨学金	
VII 納付金、奨学金制度等	19
A 入学金・学費について	
B 諸経費について	
C 携帯用パソコンの準備について	
PICK UP ▶ ・高等教育の修学支援新制度(授業料減免・学生生活支援) ・教育訓練給付制度(社会人修学支援)	
VIII 「オープンキャンパス」「学校・学科説明会」「入学選考説明会」	21
オープンキャンパス等開催日程・内容	
IX 中村学園 沿革	22

建学の精神

パイオニア（開拓者）の精神を基調とし、ますます高度化する現代社会の変化に対応
試行錯誤の中からクリエイティブな精神を培い
独立自尊をもって広く国際社会に貢献する
人格の形成を重点とする

校訓

技術は力なり
我は我が道を行く
“How to” 人間でなく“Why” 人間の養成

教育方針

実践的なスキルを産学官連携教育プログラムで磨き、
急速に変化する最先端のニーズに即応できる
スペシャリスト（クリエイター、エンジニア、
オペレーター）の育成

【建学の精神】

現代の社会において、ICT（情報通信技術）を中心に技術の進歩はとどまるところを知らず、この社会で、
集団の中に埋没するのではなく、自らが先頭に立って
新しい分野を切り拓いていく精神が必要です。

今、ハイレベルな知識・技術、技能を持っていても、
移り行く社会の中では常に「現代社会の人材ニーズ
に伝える」ための努力をしなければなりません。壁に
ぶつかり、たとえ失敗を繰り返しながらも自らが考え
行動することで、新しいことを学習し、吸収すること
によって新しいものを生み出す力が養われます。新し
いものを生み出す、つまり「創造する力」は、すべて
の分野において求められているものなのです。

また本学では「創造する力」だけでなく、仕事に取
り組む前向きな姿勢や「仕事を通して自己実現を図る」
という情熱を培い、技術だけでなく将来社会人として
活躍するための基礎力を養います。このような「生き
方」のもと、日々仕事に取り組み、これからの日本を支え、
グローバル社会で国際的に活躍できる人格の形成を
目指しています。

【校訓】

社会や業界が求めているのは、社会人としての常
識と、知識・技術、技能を身につけた人材です。そして、
一人ひとりが自分自身の将来の夢に向かい、夢へと続
く道を見つけ出すことが必要です。

わからないこと、難しいことにぶつかることもあり
ますが、誰かに方法を教わったり、マニュアルに頼る
だけの“How to” 人間では、社会に出てからも解決
法が見つからない時に途方に暮れてしまいます。しか
し、自ら原因を考え、行動できる“Why” 人間ならば、
新たな解決法を見つけ出し、業界のニーズに伝えるこ
とができます。本学では、自分で「なぜ?」「どうして?」
と考え、自ら解決法を見つけられる「“Why” 人間の
養成」を目指します。

【教育方針】

最先端のIT技術により誰もが利便性・快適性の恩
恵を受けられるSociety5.0。そこでエンジニアやクリ
エイターに求められるスキルや人間性は、これまで以
上に多様化しています。こういった社会のニーズに応
え、企業と連携した教育プログラムとCANスカラシッ
プ制度によって学内外で貴重な経験を積み重ね、こ
れからの世界で自信を持って活躍できる人材を育成し
ます。

産学官連携でAI活用・DX実践、メタバース等の最新技術を実践的に学びます。分野を超えた連携で学生の視野を広げ、高度なICTスキルを武器に社会のニーズへ応える次世代のプロを育成します。

1. フィールドスタディをベースにしたリーダー育成と経済的支援の新制度で学生生活を支援!

①CANスカラシップ制度によるリーダー養成

学内外の活動を通じ、リーダーシップを発揮できるよう「問題発見・解決力」をはじめ、「人間力」を身につけます。活動成果が認定されることで、希望により「経済的支援」も受けられます。
※詳細はP4をご参照ください。

②学外で学習の成果を発揮「フィールドスタディ」

企業での研修やインターンシップ等を通じて身につけたスキルを学生同士で共有したり、学外へ発信したりします。これらの活動を通じ、自信を持って社会へ出るための土台を形成します。

③充実の経済的支援、オリジナル奨学金制度

本学は文部科学省「高等教育の修学支援新制度」の認定校です。その他「遠隔地生活支援、親子・兄弟姉妹特別奨学金制度」等、様々な形で経済的にサポートします。
※詳細はP19をご参照ください。

2. 産学官連携による高度実践職業教育。学内外での実践的な学びを通じてスキルアップします。

①『産学官連携教育』で最新の実践的スキルを修得

産業界や国・地方公共団体等の力添えにより、連携による研究開発・企画制作等を体験します。社会から評価を頂けるとともに、求められるスキルを実践的に修得し、就職に結びつけます。

②現役クリエイターやエンジニアから最新のスキルを学ぶ

各業界で現役活躍中のディレクター、クリエイター、エンジニアが授業を担当。授業内でも業界の最新情報や最先端の知識、スキルを学び、レベルアップが図れます。

③海外研修修学旅行でグローバルな視点を育成

海外への研修修学旅行を通じ、異文化体験から社会課題の解決策を導き出します。AI時代の多様性を理解し学科を超えた絆で、広い視野から未来を切り拓く力を養います。

3. 創立以来、抜群の就職決定率! 内定まで学校全体でサポートします。

①担任教員&進路担当教員のダブルサポート体制

クラス担任と進路専門の教員がダブルで就職活動全般を支援。業界・企業研究から説明会への参加・筆記試験・面接試験等、内定までを万全にサポートします。

②資格取得とコンテスト受賞就職活動への実績づくり

目指す職業に必要な知識、技術を効率的に身につけ、その実力の証明として資格を取得。コンテストにも挑戦し、各種受賞が就職活動でも実績として活かされます。

③「卒業生を囲む会」でOB・OGから情報をGet!

各業界で活躍中の卒業生を招き、業界の最新情報や様々な経験談を話してもらいます。直接相談することもできて、就職活動のアドバイスももらえます。

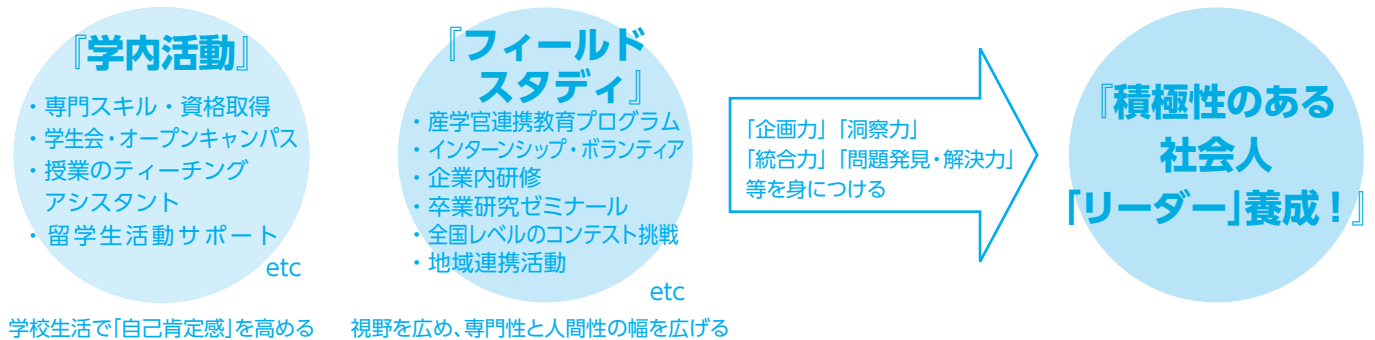
日課表(各学科共通)			原則:4時限/日	
8時50分	SHR	⋮	13時00分	3時限目(90分)
9時00分	1時限目(90分)	⋮	14時45分	4時限目(90分)
10時45分	2時限目(90分)	⋮	16時30分~	資格取得対策等諸活動

本学独自のリーダーづくり CANスカラシップ制度

『リーダー養成「ヒトづくり」と「経済的支援」』

職業実践専門課程『産学官連携教育プログラム』により、卒業後、実社会で即戦力としてリーダーシップを発揮できるプロフェッショナルの養成を目指します。

※「産学官連携教育プログラム」とは…社会との接点、いわば本学教育と企業・業界等社会とのパイプとなるもので、本学の職業教育の一環として取り組んでいる実学・実践的なプログラムです。



◆CANスカラシップ活動事例

- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 学内での講義、演習、実習等で学生の中心となり、教員のアシスタントとして学生全員の履修成果を高める。 ● 学生募集のオープンキャンパス等の企画・運営アシスタントとして高校生の模範となり、学科の活動成果を発信する。 ● 留学生は他の留学生の中心として、日本語能力の向上や専門知識習得のサポートをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 学外での「インターンシップ」「企業実習」「ボランティア活動」等で学生の中心となり、全体の履修成果を高める。 ● 全国レベルの各種コンテストやイベント、地域ボランティア等の対外活動に積極的にチャレンジし、学内外へ成果を発信する。 ● 研究・研修成果をプレゼン等で発表し、その成果を他の学生とともに共有する。 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

フィールドスタディ等の課外活動を通じ、「自ら考え、行動する」ことで「問題発見・解決力」を身につけます。
これにより社会で自信を持ってリーダーシップを発揮できるようになります。
また、活動へ積極的に参加し、評価を得ることで「経済的支援」も受けられます。

経済的支援

「CANスカラシップ」に選考された学生は「学生リーダーN-Cap」となり、希望により経済的支援を受けられます。

学生リーダー N-Cap A : 年／20万円

- ・ 学習・生活態度が優れ、他学生の模範として学生全体の履修効果を高めた者
- ・ 専門性を活かした社会貢献活動に積極的に参加し、リーダーシップを発揮した者
- ・ 全国規模の競技大会、コンクール等で入賞、または優れた調査研究を行った者
- ・ 専門分野に関する高度な資格・免許を取得した者

学生リーダー N-Cap B : 年／10万円

- ・ 学習・生活態度が優れ、他学生の模範として学生全体の履修効果を高めた者
- ・ 専門性を活かした社会貢献活動に積極的に参加し、リーダーシップを発揮した者

選考方法

入学時は全ての選考方法の受験者を対象に選出します。対象は高校卒（同等）者、留学生、社会人経験者等、年齢も問いません。

「CANスカラシップ」にチャレンジする方は、AOエントリー時または入学選考出願時に「CANスカラシップ自己推薦文（原稿用紙5枚）」をご提出ください。

※AOエントリー時の提出小論文「私の将来像」とは別途に提出していただきます。

PICK UP

産学連携教育プログラム

本学独自のネットワークによる企業や団体の協力で、学内外で社会に求められる最新の知識・技術・技能を身につけることができます。企業を訪問し、企業内で実際に仕事を担当したり、企業からの課題に学内で取り組み、その成果を企業の方々に評価していただきます。現場

で学ぶことで、コミュニケーション力、企画力、問題発見・解決力などを実践的に身につけることもできます。これにより、卒業後即戦力として社会で活躍することができるようになります。

産学連携教育プログラム 事例紹介

ITゲーム&ロボットシステム学科

◆ゲームシステム研究

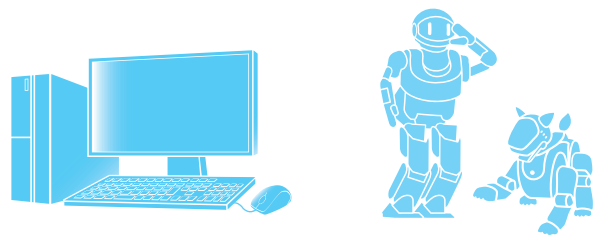
第一線で活躍する卒業生のクリエイターから、現場のリアルな開発技術を直接伝授。全国ネットのコンテンツを制作する3DCG・サウンドのプロからも指導を受け、圧倒的なクオリティを追求する力を身につけます。学生の作品は全国規模のコンテストでメジャー企業のプロから高く評価され、これまでに多彩な賞を受賞。ハイレベルな指導と輝かしい受賞実績を武器に、ゲーム業界の即戦力となるクリエイターを目指します。

◆ITスペシャリスト研究

企業や各種団体が主催する最先端の技術セミナーへ積極的に参加し、AIやDX、ビッグデータ等の最新トレンドへの理解を深めます。学内では、第一線で活躍するプロのシステムエンジニアやITコンサルタントからシステム開発の実践的な技術を直接指導。さらに、デジタルデザイン、クラウド開発、ネットワーク、セキュリティなど、高度化するIT社会に不可欠なスキルを幅広く網羅します。学内外のプロとの交流を通してコミュニケーション能力やプレゼン力も磨き、次世代のITエンジニアに求められる「自ら考える力」と「発信力」を備えた学生を育成します。

◆ロボットシステム研究

地元静岡でロボットや自動制御システムを手掛ける企業と強力に連携。学内の3Dプリンタや加工機械を駆使し、パーツから自作する本格的なモノづくりを実践します。AIや次世代テクノロジーを組み込み、未来志向のロボットを開発する高度なスキルを習得。現場を知るプロフェッショナルから直接指導を受けながら、学生ならではの発想でオリジナル作品を製作します。さらに全国規模の技術展へ足を運び、企業と直接交流。最前線のトレンドを肌で感じ、より高度な開発へと繋がります。



音響&映像メディアクリエイト学科

◆音響エンタメ研究

地元静岡の音響・音楽イベント関連企業と強力に連携し、大ホールやライブハウス、結婚式場、スタジオを舞台に本格的な実習を展開します。プロの直接指導のもと、実際の音響設備や照明装置、舞台制御システムを学生自身の手で稼働させ、現場の熱気とスピード感を体感。さらに企業と連携したテレビ・ラジオCM制作や、学生が主体となって企画・運営するライブイベントなど、圧倒的な実践経験を積み重ね、エンタメ業界の第一線で躍動するプロフェッショナルを目指します。

◆映像メディア研究

テレビ局のベテランディレクターや有名アニメのクリエイターなど、最前線で活躍するプロから映像制作の極意を直接指導。CGやキャラクターデザインの現場の熱量にも触れ、即戦力となるスキルを学生のうちから身につけます。企業との連携プロジェクトでは、実際にオンエアされるテレビCMの企画から撮影、編集までをトータルに経験。さらにポスターやWebサイトなど多彩なデザイン制作にも挑み、実践的なコンテンツ制作を通して、映像メディア業界で躍動するための洗練されたセンスと確かな技術を鍛え上げます。

AI×DXプロデューサー専攻科

【地域課題解決PBL(プロジェクト学習)の想定テーマ例】

◆事例1:地元中小企業(製造業・小売業)の業務DX化提案 現場担当者へのヒアリングを通じ、紙ベースで行われているアナログ在庫管理や発注業務を洗い出します。生成AIや既存のSaaSツールを組み合わせ、コストを抑えながら需要予測や業務自動化を実現する解決策を設計・提案します。

◆事例2:観光・サービス業向けのAI顧客対応システムの構築 人手不足に悩む地域のホテルや観光施設に向け、生成AIを活用した多言語対応の案内チャットボットを企画します。実際の顧客からのよくある質問(FAQ)をもとに最適なプロンプトを設計し、精度の高い回答を引き出すAIツールの導入を支援します。

◆事例3:属人化した社内ナレッジのAI共有化プロジェクト 「ベテラン社員しか分からない」といった社内の暗黙知や、膨大なマニュアルデータをAIに学習させ、社内専用のAIアシスタントを構築します。現場のニーズを聞き出しながら出力結果を評価・改善し、新人教育や業務引き継ぎの効率化を目指します。

★専攻科が目指す「AI×DXプロデューサー」とは
これからの時代に必要なのは、単にAIツールを使える人ではなく、現場の業務フローを理解し「どのようにAIを活用してDXを導入すれば課題が解決するのか」を見極められる人材です。本専攻科では、最新のIT技術力と、現場の声を拾い上げる対話力(ヒアリング力・提案力)を兼ね備え、技術と現場の架け橋となるプロフェッショナルを育成します。

修業年限1年

男女24名

AI×DXプロデュース専攻科

専門学校や大学を卒業した方、または社会人の学び直しを対象とした1年課程の専攻科です。AIツールを実践的に使いこなす「AI対話力」と、現場の課題を聞き出しDX化へと導く「課題解決・設計力」を身につけ、これからの時代に求められるAI×DX推進のプロフェッショナルを目指します。

〈AI×DXプロデュース専攻科の特長〉

- ① 高度なAI活用とプロンプトデザインの習得 AIに対する確かな指示（プロンプトデザイン）と、その回答を評価・修正する力を養います。単にAIを使うだけでなく、業務効率化や新しい価値創造につなげるための実践的なスキルを習得します。
- ② 現場の課題を解決する設計力・提案力の育成 ITの知識だけでなく、顧客や現場担当者から潜在的な課題を聞き出し、最適なDXソリューションを設計する力を重視しま

す。対話を通して解決策を提案できるプロデューサー人材を育成します。

- ③ 地域課題解決型学習（PBL）による実践力の強化 実際の地域や企業の課題をテーマにしたPBL（Project Based Learning）に取り組みます。より実践的な環境でプロジェクトを回す経験を積み、修了後すぐに即戦力として活躍できる実践力を徹底的に養成します。

主な取得目標資格	主な目指す職種
<ul style="list-style-type: none"> 生成AIパスポート試験（一般社団法人 生成AI活用普及協会） G（ジェネラリスト）検定（日本ディープランニング協会） DX検定（一般社団法人 日本イノベーション融合学会） 基本情報技術者試験（経済産業省） 応用情報技術者試験（経済産業省） 	<ul style="list-style-type: none"> DX推進担当者 AI・DXコンサルタント AIプロンプトエンジニア プロジェクトマネージャー 社内システムエンジニア システムコンサルタント

【カリキュラム】

科目区分	教科名	単位数	
専門科目	必須科目	DXプロデュースデザイン	3
		システムプランニング&デザイン	3
		UXリサーチ&マーケティング	3
		データサイエンス基礎	2
		AIプロンプトデザイン	3
		ITソリューション概論	4
		ノーコードアプリ開発	2
		DXプロデュース演習	2
		業界別DXプロデュース	5
		業務自動化RPA演習	2
		AIモデルプログラミング	2
		データサイエンス応用	3
		キャリアデザイン	3
関連科目	必須科目	修了研究	5
合計		42	

○ 専修学校設置基準第二十八条の四に則り、45時間の学習で1単位。

1年間の学びのステップ



前期：

インプットと基礎構築AIの基礎知識、プロンプトデザインの習得、関連資格（G検定や生成AIパスポートなど）の取得に向けた学習に集中し、最新技術を使いこなす土台を固めます。



後期：

アウトプットと課題解決の実践 地域課題解決PBL（プロジェクト学習）を中心に、実際の企業や地域が抱える課題のヒアリングからDX施策の提案、設計までを実践し、現場で即戦力となるプロデュース力を磨きます。

※専攻科への入学は、大学または専門学校にて2年以上の在籍経験が必要となります。詳細はお問い合わせください。

教育内容

修業年限2年 男女40名

ITゲーム&ロボットシステム学科

ロボット、IT、ゲーム制作。AI×DX時代の最先端を走るための知識と技能を、プロの現場に近い環境で徹底的に習得します。高度な専門性を備え、変化の激しい現代社会において即戦力として活躍できる、次世代の「モノづくり」のプロフェッショナルを育成します。

ITスペシャリスト研究

〈ITスペシャリスト研究の特長〉

- ① AI×DXの進展により高度化するIT業界のニーズに応えるため、AI APIの活用やシステム基盤の設計・構築技術を習得。ハードとソフトの両面から、最適解を導き出せるスペシャリストを育成します。
- ② Webデザインからプログラミング、マネジメントまで幅広く学び、自身の強みを確立します。産学官連携によるWebサ

イト制作や地域イベントでのシステム運用を通じ、実践力を徹底的に養います。

- ③ 常に最新技術へ目を向ける「好奇心」と「情報アンテナ」を重視。2年間の学びで技術を磨くだけでなく、地域振興プロジェクト等の実戦経験を通じて、社会で即戦力として活躍できる発信力を身につけます。

主な取得目標資格	主な目指す職種
<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報技術者、応用情報技術者、ネットワークスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、情報セキュリティマネジメント試験、情報処理安全確保支援士(経済産業省) ・C言語プログラミング能力認定試験、Pythonプログラミング能力認定試験 ・生成AIパスポート試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・システムエンジニア ・ITコンサルタント ・ネットワークエンジニア ・データベースエンジニア ・セキュリティエンジニア ・Webクリエイター ・IoT開発エンジニア ・DXスペシャリスト <p style="text-align: right;">etc</p>



ロボットシステム研究

〈ロボットシステム研究の特長〉

- ① AIやネットワーク、セキュリティについて学び、知能化・高度化する産業に対応できる次世代の設計・開発エンジニアを育成します。ソフトとハードを最適に統合し、複雑な課題を解決できる応用力の高い技術を習得します。
- ② 静岡県内の専門学校で唯一、ハードウェアとソフトウェアの両面を本格的に学べる環境です。基板設計から制御ま

でを一貫して理解することで、次世代の製品をゼロから形にする「モノづくり」のプロを目指します。

- ③ 3Dプリンタでのパーツ製作や企業との開発実習を通じ、企画から実装までの全工程を体験。プロと同等の開発環境に身を置き、ロボットを自在に操るハイレベルな技術と、仕事としての醍醐味を肌で学びます。

主な取得目標資格	主な目指す職種
<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報技術者、応用情報技術者 ・C言語プログラミング能力認定試験、Pythonプログラミング能力認定試験 ・生成AIパスポート試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット設計開発エンジニア ・組み込みシステムエンジニア ・ハードウェア開発エンジニア ・IoT開発エンジニア ・IoTセキュリティエンジニア <p style="text-align: right;">etc</p>



ゲームシステム研究

〈ゲームシステム研究の特長〉

- ① 卒業生を含む第一線のゲームクリエイターが授業を担当。現場のノウハウを直接指導します。プロの視点から作品へのフィードバックを繰り返し受けることで、表現力と技術をプロレベルへと磨き上げます。
- ② 自ら企画・開発したオリジナル作品で全国の舞台へ。大手ゲーム企業から受ける高い評価や受賞実績は、学生に

とって揺るぎない自信となり、就職活動を有利に進めるための圧倒的な武器となります。

- ③ ゲーム開発はIT技術の集大成です。そこで培われる高度なプログラミングやシステム構築力は、ゲーム業界のみならず、あらゆるIT・デジタル分野を牽引できる汎用性の高い専門スキルとなります。

主な取得目標資格	主な目指す職種
<ul style="list-style-type: none"> ・基本情報技術者(経済産業省) ・応用情報技術者(経済産業省) ・情報処理技術者能力認定試験 ・データベーススペシャリスト試験 ・C言語プログラミング能力認定試験 <p style="text-align: right;">etc</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームプログラマー ・サーバーサイドエンジニア ・VR/ARエンジニア ・システムエンジニア ・アプリケーションエンジニア ・ゲームディレクター ・3DCGデザイナー <p style="text-align: right;">etc</p>



【カリキュラム】

ITゲーム&ロボットシステム学科〈ゲームシステム研究・ロボットシステム研究・ITスペシャリスト研究〉

科目区分		教科名	第1学年 単位数	第2学年 単位数		
一般科目	必須科目	現代倫理	4			
		ビジネス文書技法	4			
		一般教養	2			
		企業研究1	2			
		企業研究2		2		
		テクニカル・トレンド英語		2		
		AI活用&DX推進実践		2		
		職業とキャリア		2		
		小計	12	8		
専門科目	必須科目	検定対策	4			
		プログラミング基礎	5			
		プログラミング応用	5			
		IT基礎知識	4			
		データベース概論	2			
		ネットワーク概論	2			
		ウェブシステム設計		4		
		ウェブシステム開発		4		
		モデリング技法		2		
		卒業研究		6		
			小計	22	16	
	選択科目	G	ゲーム開発基礎	3		
			ゲーム開発応用	3		
			3DCG基礎	3		
			3DCG応用	3		
			ロボット製作基礎	3		
			ロボット製作応用	3		
			電気電子回路	3		
			デジタル回路	3		
			Webデザイン基礎	3		
			Webデザイン応用	3		
				I : ITスペシャリスト研究 小計	12	
				R : ロボットシステム研究 小計	12	
				G : ゲームシステム研究 小計	12	
		I	DTM基礎			3
			DTM応用			3
			ゲーム開発実践1			2
			ゲーム開発実践2			2
			オブジェクト指向設計1			6
			オブジェクト指向設計2			3
			IoTシステム設計開発			3
			AIテクノロジー			2
データサイエンス					2	
ロボット製作実習1				4		
ロボット製作実習2				4		
セキュリティ概論				4		
DXマネジメント概論			2			
DXストラテジ概論			2			
		I : ITスペシャリスト研究 小計		12		
		R : ロボットシステム研究 小計		12		
		G : ゲームシステム研究 小計		12		
関連科目	必須科目	プロゼミ	4			
		ゼミナール		4		
		小計	4	4		
ITスペシャリスト研究 合計			50	48		
ロボットシステム研究 合計			50	45		
ゲームシステム研究 合計			50	47		

○ 専修学校設置基準第二十八条の四に則り、45時間の学習で1単位。

◆ 選択科目中、科目名末のアルファベットは、研究分野別の選択科目を示す。

G : ゲームシステム研究
R : ロボットシステム研究
I : ITスペシャリスト研究

1年次「プロゼミ」科目ではAI、ビッグデータ、IoT、ロボットに関する基礎的な知識について学ぶ。2年次「ゼミナール」科目では、システム開発・研究に、これら先端技術要素を組み込み、時代のニーズに即応できるよう実践力を養成する。

教育内容

修業年限2年

男女40名

音響&映像メディアクリエイト学科

PA・サウンド制作から3DCG、キャラクターデザインまで、最新のAI技術をワークフローに取り入れた次世代の制作スキルを習得。業界のDX化を牽引できる高度な専門性を磨き、音と映像を融合させて新たな感動を創造するプロフェッショナルを目指します。

音響エンタメ研究

〈音響エンタメ研究の特長〉

- ① 本格的なスタジオ設備を「いつでも使える」環境で、音響・レコーディングのプロから直接学ぶ!現場で通用する確かな技能を習得します。
- ② 産学官連携による現場研修を軸に、エンタメ業界のDX化に対応した実践的な学びを通じ、先進的なクリエイターへと成長します。
- ③ 映像音響処理技術者などの専門資格に加え、制作にAIをフル活用。変化の激しいエンタメ業界において、時代をリードするプロを目指します。

主な取得目標資格	主な目指す職種
<ul style="list-style-type: none"> ・映像音響処理技術者 ・MIDI検定 ・舞台機構調整技能士 ・Pro Tools技術認定 ・サウンドレコーディング技術認定 <p style="text-align: right;">etc</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音響オペレーター ・ライブコンサートスタッフ ・レコーディングエンジニア ・照明オペレーター ・テレビ音声効果音スタッフ ・番組企画・制作スタッフ <p style="text-align: right;">etc</p>

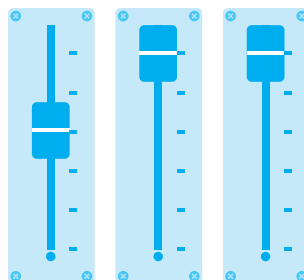
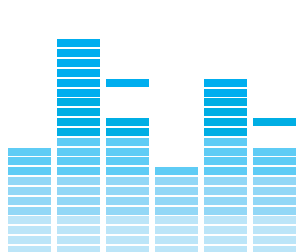


映像メディア研究

〈映像メディア研究の特長〉

- ① 有名アニメのクリエイターやテレビ局のベテランディレクターが直接指導。プロの視点と技術、現場で求められる確かな表現力、作品を形にする力を徹底的に磨きます。
- ② 実際にオンエアされるテレビCMの企画・制作から、イベントポスター、Webデザインまで幅広く挑戦。社会に届く
- 作品づくりを通じ、実践的なスキルとプロの責任感を身につけます。
- ③ AIの活用、最新のデジタル技術を積極的に導入。テクノロジーと感性を融合させ、変化し続けるメディア業界をリードする、新しい時代の表現者を育成します。

主な取得目標資格	主な目指す職種
<ul style="list-style-type: none"> ・映像音響処理技術者 ・CGクリエイター検定 ・Photoshopクリエイター能力認定 ・Illustratorクリエイター能力認定 <p style="text-align: right;">etc</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・映像制作・編集エンジニア ・CGクリエイター ・Webデザイナー ・広告デザイナー ・カメラマン ・番組企画・制作スタッフ <p style="text-align: right;">etc</p>



【カリキュラム】

音響&映像メディアクリエイイト学科〈音響エンタメ研究・映像メディア研究〉

科目区分		教科名	第1学年 単位数	第2学年 単位数		
一般科目	必須科目	現代倫理	4			
		ビジネス文書技法	4			
		一般教養	2			
		企業研究1	2			
		企業研究2		2		
		メディア・トレンド英語		2		
		AI活用&DX推進実践		2		
		職業とキャリア		2		
		小計	12	8		
専門科目	必須科目	検定対策	4			
		デジタルデザイン基礎	3			
		デジタルデザイン応用	3			
		DX&AIデジタルテクノロジー		4		
		総合演出技術		3		
		卒業研究		8		
			小計	10	15	
	選択科目	3DCG基礎	V	3		
		3DCG応用	V	3		
		コミック・キャラクターデザイン基礎	V	3		
		コミック・キャラクターデザイン応用	V	3		
		映像制作基礎	V	3		
		映像制作応用	V	3		
		アニメーション制作基礎	V	3		
		アニメーション制作応用	V	3		
		レコーディング基礎	S	3		
		レコーディング応用	S	3		
		PA基礎	S	3		
		PA応用	S	3		
		音楽理論	S	4		
		音響工学基礎	S	4		
		DTM基礎	S	3		
		DTM応用	S	3		
				S：音響エンタメ研究1学年 小計	26	
				V：映像メディア研究1学年 小計	24	
		実践映像制作1	V		3	
		実践映像制作2	V		2	
		Webデザイン基礎	V		3	
		Webデザイン応用	V		3	
		実践アニメーション制作1	V		3	
実践アニメーション制作2		V		2		
デジタルデザイン実践	V		3			
サウンド制作実践1	S		3			
サウンド制作実践2	S		2			
レコーディング実践1	S		3			
レコーディング実践2	S		2			
PA実践1	S		3			
PA実践2	S		2			
音響工学応用	S		4			
		S：音響エンタメ研究2学年 小計		17		
		V：映像メディア研究2学年 小計		19		
関連科目	必須科目	プロゼミ	4			
		ゼミナール		4		
			小計	4	4	
			S：音響エンタメ研究 総合計	52	44	
			V：映像メディア研究 総合計	50	46	

○ 専修学校設置基準第二十八条の四に則り、45時間の学習で1単位。

◆ 選択科目中、科目名末のアルファベットは、研究分野別の選択科目を示す。

S：音響エンタメ研究

V：映像メディア研究

A 入学選考

1. AO入学選考

「アドミッション・ポリシー」(P12)にあるように、本学が求める人物を対象とした選考方法です。学力だけで結果を求めるのではなく、オープンキャンパス、進路面談等によって志願者を多面的に、また総合的に評価し入学を許可します。

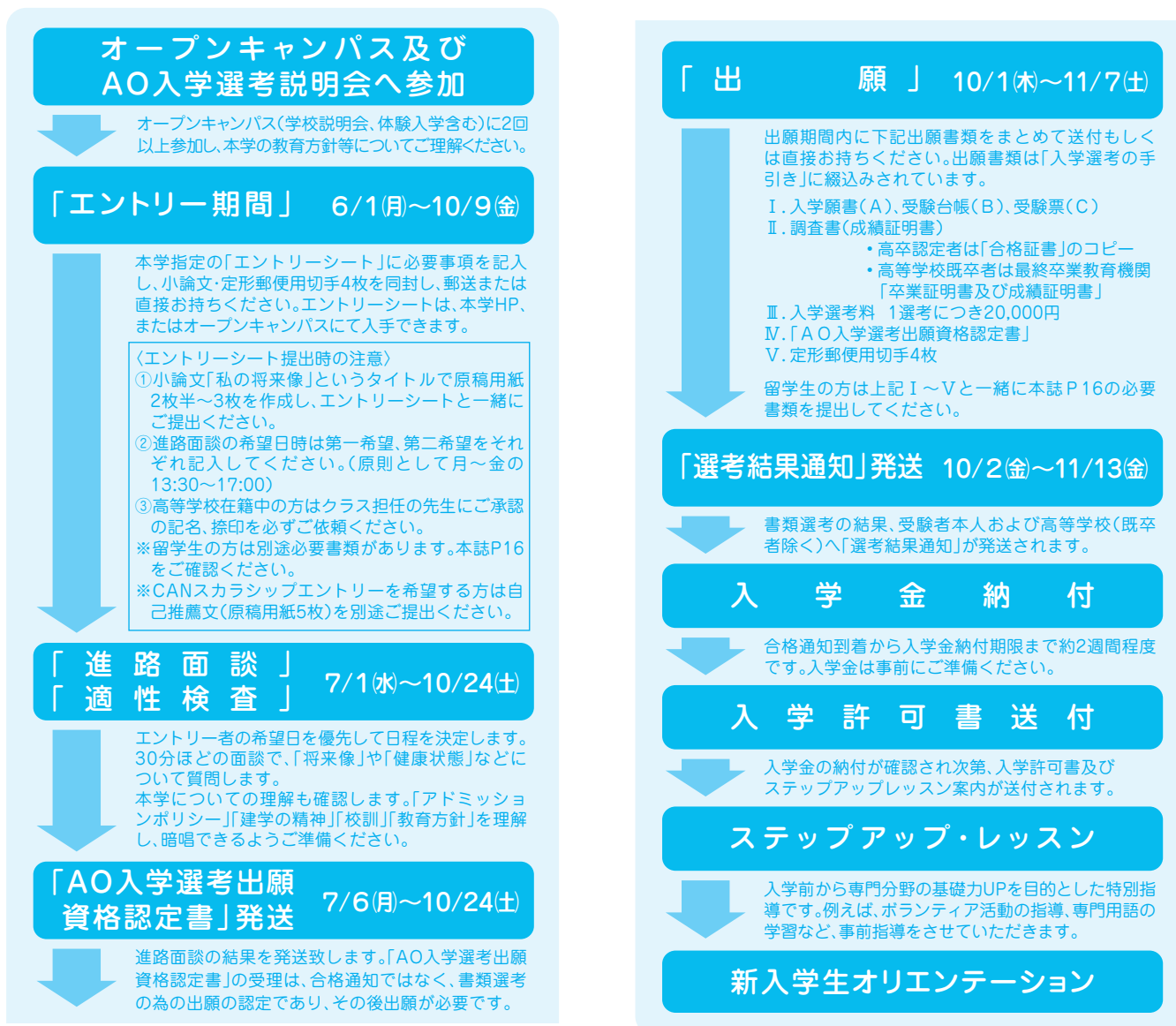
★AO入学選考のメリット

- ・他の選考との同時出願(出願書類提出1回で2選考)で合格の可能性を上げられます。
- ・他の選考と比べて出願後、早期(数日以内)。他選考との同時出願の場合は選考日による)に合否結果を出すことができます。

AO入学選考要項

- ▶出願資格：2027年3月高等学校(高等専門学校・高等専修学校)卒業見込みの者
本学専願者
- ▶出願期間：2026年10月1日(木)～11月7日(土)
※第1回入学選考とのW出願者は10/23(金)まで
- ▶出願書類：入学願書、受験台帳、受験票、
高等学校調査書または最終卒業機関の卒業証明書・成績証明書
- ▶選考内容：小論文、進路面談、適性検査、書類選考

AO入学選考「エントリー資格」と入学までの流れ ※エントリー時期により以後の日程が決まります。



A 入学選考

アドミッション・ポリシー（本学が求める学生像）

本学の「建学の精神」、「校訓」、「教育方針」を良く理解し、本学への入学を強く志し、「勉強と仕事を通じて自己実現を図る」という情熱と明確な志望を持った方

※「建学の精神」「校訓」「教育方針」は本誌P2をご参照ください。
それぞれ意味を理解し、進路面談時に暗唱できるように準備してください。

◆ AO入学選考と他の選考との同時出願（W出願）

AO入学選考と他の選考方法の「同時出願」ができます。
「同時出願」の場合は、選考日前日15時までが出願〆切となります。
AOエントリーの上、進路面談を受け、「AO入学選考出願資格認定書」を受理した後、他の出願書類と併せて郵送または直接ご持参ください。



- AO以外の入学選考
 (1) 指定校推薦選考（第1回のみ）
 (2) I 特待生選考
 II 自己推薦選考
 III 一般選考
 IV 社会人選考
 V 留学生選考

◆ 「進路面談」及び「面接試験」要領

〈AO入学選考〉「進路面談」

30分程度の面談です。「あなたの将来像」や「健康状態」、「エントリーシートの記載内容」を確認します。「本学のアドミッション・ポリシー」「建学の精神」「校訓」「教育方針」について、内容を理解し、暗唱できるようご準備ください。

〈AO以外の入学選考〉「面接試験」

筆記試験終了後、一次面接、二次面接を実施します。
 ・一次面接：受験生1名、面接官2名
 ・二次面接：受験生1～2名、面接官2名

◆ 小論文について ※CANスカラシップ自己推薦文については本誌P4をご参照ください。

1. テーマ

【AO入学選考】
「私の将来像」

2. 文字数

1,000～1,200文字（原稿用紙2枚半～3枚）
誤字、脱字に注意し、自筆で作成してください。

3. 原稿用紙の使い方

右図の例を参考にして、小論文を作成してください。

※その他、小論文の内容、書き方について不安な点がありましたら、オープンキャンパスにてお気軽にご相談ください。

三行目	二行目	一行目	※原稿用紙一枚目
本文（上を二ます空ける）		テーマ	
		氏名	

〈小論文の書き方例〉

小論文の構成は「序論」「本論」「結論」の三つの部分からなるのが一般的です。

①「序論」…あなたの将来像

- ・私の理想とする将来像は△△な〇〇である。
- ・私は将来△△な〇〇になりたいと考えています。
 △△⇒時代の変化に対応できる
 ・常に最新技術を学び続ける など
- 〇〇⇒システムエンジニア、プログラマー
 音響エンジニア、映像クリエイター など

②「本論」…その具現化を図るための手段

- ・そのためには、三つの学びが必要である。
 まず、一つめは…
- ・そのためには、5段階のステップを踏んでいかなければなりません。まず、第一に…

③「結論」

- ・これらの学びを自分のものとし、実社会で多くの経験を積むことにより、はじめて私の理想とする〇〇が実現できると考える。
- ・以上のような努力をすれば、必ず「なりたい〇〇」になれると信じています。

A 入学選考

2. AO入学選考以外の入学選考共通要項

◆ 下記全ての選考方法の共通出願書類

- | | |
|------------|--------------------------------|
| ① 入学願書 | ② 受験台帳 |
| ③ 受験票 | ④ 高等学校調査書または最終卒業機関の卒業証明書・成績証明書 |
| ⑤ 定型郵便切手4枚 | ⑥ 入学選考料2万円 |

(1) 指定校推薦選考

- ▶ 出願資格：2027年3月高等学校(高等専門学校・高等専修学校)卒業見込みの者
高等学校における評定平均値が5段階評価で3.5以上の者
本学専願者
- ▶ 出願期間：2026年10月1日(木)～10月23日(金) ※第1回入学選考のみ
- ▶ 出願書類：共通出願書類①～⑥、学校推薦書(本学指定用紙)
- ▶ 選考内容：面接、適性検査、書類選考

(2) 上記以外の選考方法

I 特待生選考

- ▶ 出願資格：2027年3月高等学校(高等専門学校・高等専修学校)卒業見込みの者及び既卒者
高等学校における評定平均値が5段階評価で4.0以上の者
本学専願者
- ▶ 出願期間：2026年10月1日(木)～2027年3月5日(金)
- ▶ 出願書類：共通出願書類①～⑥、学校推薦書(本学指定用紙)
- ▶ 選考内容：面接、科目試験(英語、数学、国語から1科目選択)
適性検査、書類選考
- ▶ 特典：特待生として選考された場合、20万円/年が給付されます。
また、準ずる者として特別奨学生に選考された場合は10万円/年が給付されます。

II 自己推薦選考

- ▶ 出願資格：2027年3月高等学校(高等専門学校・高等専修学校)卒業見込みの者及び既卒者
自分自身を本学に推薦できる者
- ▶ 出願期間：2026年10月1日(木)～2027年3月5日(金)
- ▶ 出願書類：共通出願書類①～⑥、自己推薦書(本学指定用紙)
- ▶ 選考内容：面接、適性検査、書類選考

III 一般選考

- ▶ 出願資格：2027年3月高等学校(高等専門学校・高等専修学校)卒業見込みの者及び既卒者
- ▶ 出願期間：2026年10月1日(木)～2027年3月5日(金)
- ▶ 出願書類：共通出願書類①～⑥
- ▶ 選考内容：面接、科目試験(英語、数学、国語から1科目選択)
適性検査、書類選考

IV 社会人選考

- ▶出願資格：就業経験を有する者
職場の就労証明を受けられる者
- ▶出願期間：2026年10月1日(木)～2027年3月5日(金)
- ▶出願書類：共通出願書類①～⑥、職務経歴書(本学指定用紙)、就労証明書(収入証明書でも可)
- ▶選考内容：面接、適性検査、書類選考
※「教育訓練給付制度」の適用があります。(20ページ参照)

V 留学生選考

- ▶出願資格：日本以外の国籍を持つ者
規定の入学資格、日本語能力を有する者※詳細はP16参照
保証人をたてることができる者
- ▶出願期間：2026年10月1日(木)～2027年3月5日(金)
- ▶出願書類：共通出願書類①～⑥
その他提出物はP14参照
- ▶選考内容：面接、科目試験(国語)、適性検査、書類選考
※「遠隔地生活支援奨学金」及び「留学生特別奨学金」の適用があります。(17ページ参照)

(3)入学選考日程

出願書類は各選考日前日15時までに郵送または窓口へ必着でご提出ください。

第1回	2026年10月24日(土)	指定校推薦選考、特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考
第2回	2026年12月12日(土)	特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考
第3回	2027年2月6日(土)	特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考
第4回	2027年3月6日(土)	特待生選考、自己推薦選考、一般選考、社会人選考、留学生選考

※第4回終了時点で定員が充足していない場合は、3月27日(土)を最終選考日とします。
実施については電話・メール・ホームページ等でご確認ください。

(4)併願制度について

自己推薦、一般、社会人、留学生選考志願者で他の大学等と併願する者につき、「併願制度」を採用しています。

資格	本学への志願者で、他の大学等と併願受験を希望する者	入学手続き 併願先の合格発表後10日以内、もしくは2027年3月5日(金)のどちらか早い日までに入学手続きを行ってください。なお、残念ながら本学を辞退される場合は、「辞退届」をご提出ください。
届出 手続き	本学の入学願書の裏面「併願先」欄に併願先と合格発表日を明記することにより、「入学金の延納」が認められます。	

V. 入学選考・出願、併願制度

B 出願における注意事項

1. 出願場所(窓口または郵送により提出)

専門学校静岡電子情報カレッジ 森下町キャンパス
〒422-8061 静岡市駿河区森下町4-25
TEL 054-280-0173

2. 出願受付期間

窓口受付時間：平日9:00～17:00
入学選考前日15時が最終受付となります。
郵送の場合、出願最終日15:00必着です。
余裕を持ってご提出ください。

3. 出願選考料

入学選考料(※1選考につき20,000円)は郵便為替で送付
いただくか、窓口へ直接お持ちください。
なお、郵便為替で送付いただく場合、受取人と差出人は未記入
入でご提出いただくようお願い致します。

4. 出願書類添付写真

脱帽で、出願時より3ヶ月以内に撮影したもの。
タテ4.0cm×ヨコ3.0cmカラーまたは白黒。裏面に生年月日、
氏名をご記入の上、指定箇所に添付してください。

C 入学選考における注意事項

1. 受験会場

専門学校静岡電子情報カレッジ 森下町キャンパス
〒422-8061 静岡市駿河区森下町4-25
TEL 054-280-0173

2. 受付時間

出願後、受験票に受付時間が記載されます。
受付時間を厳守の上、ご来校ください。
受験票の「受験上の注意」を事前に確認してください。

3. 入学選考日当日の注意事項

当日は受験票を必ずお持ちください。受験票は合格後、入学
手続の際にも必要となりますので、紛失しないよう大切に保管
してください。

服装は高校生の方は学生服、既卒の方はスーツ等を着用し
お越しください。

また、やむを得ない理由により当日欠席・遅刻する場合は、
必ず本学試験会場(TEL:054-280-0173)へ連絡し、指示を
受けてください。

D ステップアップレッスン・オリエンテーションについて

1. ステップアップレッスン

合格者を対象とした入学前の特別指導(予習)です。

この指導を受けることにより、入学後にスムーズに専門的な
学習に入っていくことができます。

また、指導を通して、「職業観の意識づけ」「将来の職業に
対するイメージづけ」を行うことにより、さらに明確な将来の目標
をもつことができ、学習意欲向上にもつながります。

〈指導内容例〉

- ・社会人基礎力アップのためのビジネスマナー学習
- ・分野ごとの専門用語学習
- ・システム構築ソフトの使い方(IT)
- ・楽典の基礎知識学習(音響)
- ・好きな映画ワンシーンの再現(映像)

etc

2. オリエンテーション

入学後、各専門分野の学習に取り組む前に、専門学校で
の学びの目的、就職への目標設定などについて、新入学生同
士で意見を交わし、再確認します。

レクリエーション等も行い、新入学生同士の交流を深め、多
くの友人を作る機会としています。

〈取組内容例〉

- ・社会人基礎力アップのためのビジネスマナー学習
- ・アクティブラーニング
- ・SDGsオリエンテーリング
- ・レクリエーション

etc

E 留学生 入学資格について

■ 出願（入学）資格

- 1 年齢が18歳以上であること。
- 2 保証人をたてることができる者。保証人は20歳以上の日本人、または在留3年以上の外国人。（収入証明及び住民票の提出できる方）
- 3 日本または外国において12年以上の正規の教育課程、またそれに準ずる教育課程を修了している者。または卒業見込みの者。
- 4 更に下記の条件のいずれか1つを満たしていること
 - ①日本語学校に通学している方は
日本国内の教育機関（日本語教育機関）で法務大臣が告示を持って定めるものにおいて、6ヶ月以上の日本語教育を受けた者
 - ②日本語学校に通学していない方は
 - a. 日本国際教育協会及び国際交流機関が実施する日本語能力試験N2以上に合格した者
 - b. 日本留学試験（日本語）が200点以上の者
 - c. BJTビジネス日本語能力テストが400点以上の者
 - d. 日本の小学校、中学校または高等学校において1年以上の教育を受けた者

■ 必要書類

- 1 入学願書
- 2 パスポートのコピー
- 3 在留カード（コピー可）
- 4 国民健康保険証のコピー
- 5 保証人について
 - ①身元保証書 ②保証人の住民票
- 6 通帳の残高証明（コピー）

〈更に、下記①②いずれかを提出

（①②ともに提出できる場合は両方）

- ①日本語能力を証明できる書類
（日本語能力検定試験、日本留学試験（日本語）、BJTビジネス日本語能力テストの合格証または証明書）
- ②日本に留学し、学校（日本語学校・専門学校・大学など）に在籍したことのある方は下記の証明書
 - ア. 成績証明書
 - イ. 在学証明書
 - ウ. 出席証明書
 - エ. 卒業（見込み）証明書

※オープンキャンパスや学校・学科入学選考説明会開催時に留学生用奨学金制度（給付型・貸与型）の説明会もあります。また、個別にも対応できますので下記までご連絡ください。

TEL：054-280-0173 / メール：koho@can.ac.jp

PICK UP

◇◇◇【インターネット出願について】◇◇◇

インターネットにて出願できます。
以下の手順で出願してください。
（従来通りの出願書類でも構いません）

インターネット出願の流れ

① 本校のホームページにアクセスする

インターネット出願に進んでください。
インターネット出願画面で注意事項や流れを確認したうえで、出願してください。



・専門学校静岡電子情報カレッジ
https://www.syutsugan.net/s-denshi



② データ（入学願書の内容）を登録する



③ 受付番号を控える

登録が完了されましたら受付番号が発行されますので、控えてください。



④ 受験料を支払う

●いずれかの方法で支払い手続きを行ってください。
支払い方法の詳細はインターネット出願のページ上でご確認ください。
・クレジットカード・ネットバンキング
・コンビニエンスストア・ペイジー対応銀行ATM

受験料 20,000円（1選考につき）

※各選考で20,000円必要です。
※別途支払手数料が必要です。
※AO入学選考とその他選考のW出願はインターネット出願が利用できません。



⑤ 残りの出願書類を郵送する

出願期間内に簡易書留で郵送してください。
インターネット登録期間と出願期間は異なります。
詳しくは、インターネット出願画面で確認してください。

注意



インターネットでデータを登録するだけでは出願になりません。
データ登録後、受験料の支払いおよび出願書類の提出を行って初めて出願受付となります。

奨学金制度 ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

① 本学オリジナル奨学金 あなたの「やる気」に応え、「夢」の実現に向けて、しっかりと経済面でのバックアップをします。

奨学金制度	給付額	対象
1. CANスカラシップ	N-CapA: 200,000円/年 N-CapB: 100,000円/年	「AO入学選考」をはじめ、すべての選考方法を対象に選出する。また、在籍2年目以降は前学年度の学業、学校生活を考慮し選出され、「CANスカラシップ」に選出された学生は、希望により経済的支援を受けることができる。
2. 特待生奨学金	200,000円/年	本学の特待生選考にて選考された者。学業及び生活面で目的意識が明確かつ品行方正、他学生の模範となる者であり、CANスカラシップ制度のN-CapAと同等の学生リーダー活動が審査・評価され、それを校長が認めたる学生。
3. 修学奨励特別奨学金	100,000円/年	本学の入学選考にて特待生に準ずる者として選考された者。学業及び生活面で目的意識が明確であり、CANスカラシップ制度のN-CapBと同等の学生リーダー活動が審査・評価され、それを校長が認めたる学生。
4. 親子・兄弟姉妹特別奨学金	100,000円/年	親または兄弟姉妹が中村学園専門学校に在籍する学生・卒業生の学生。(出願時に本学卒業または在学証明書を添付)
5. 遠隔地生活支援奨学金	100,000円/年	本学の指定する適用範囲(下記路線図参照)から通学、および静岡県外から通学または親元を離れ一人暮らしする学生。留学生は全員対象。
6. 留学生特別奨学金	100,000円/年	日本語能力試験等において一定の基準(日本語能力試験N2以上、日本留学試験200点以上等)を満たし、他の留学生の模範となると校長が認めたる学生。

※1～3は、当該年度末の「奨学生特典評価判定会議」により認定された後に支給されます。

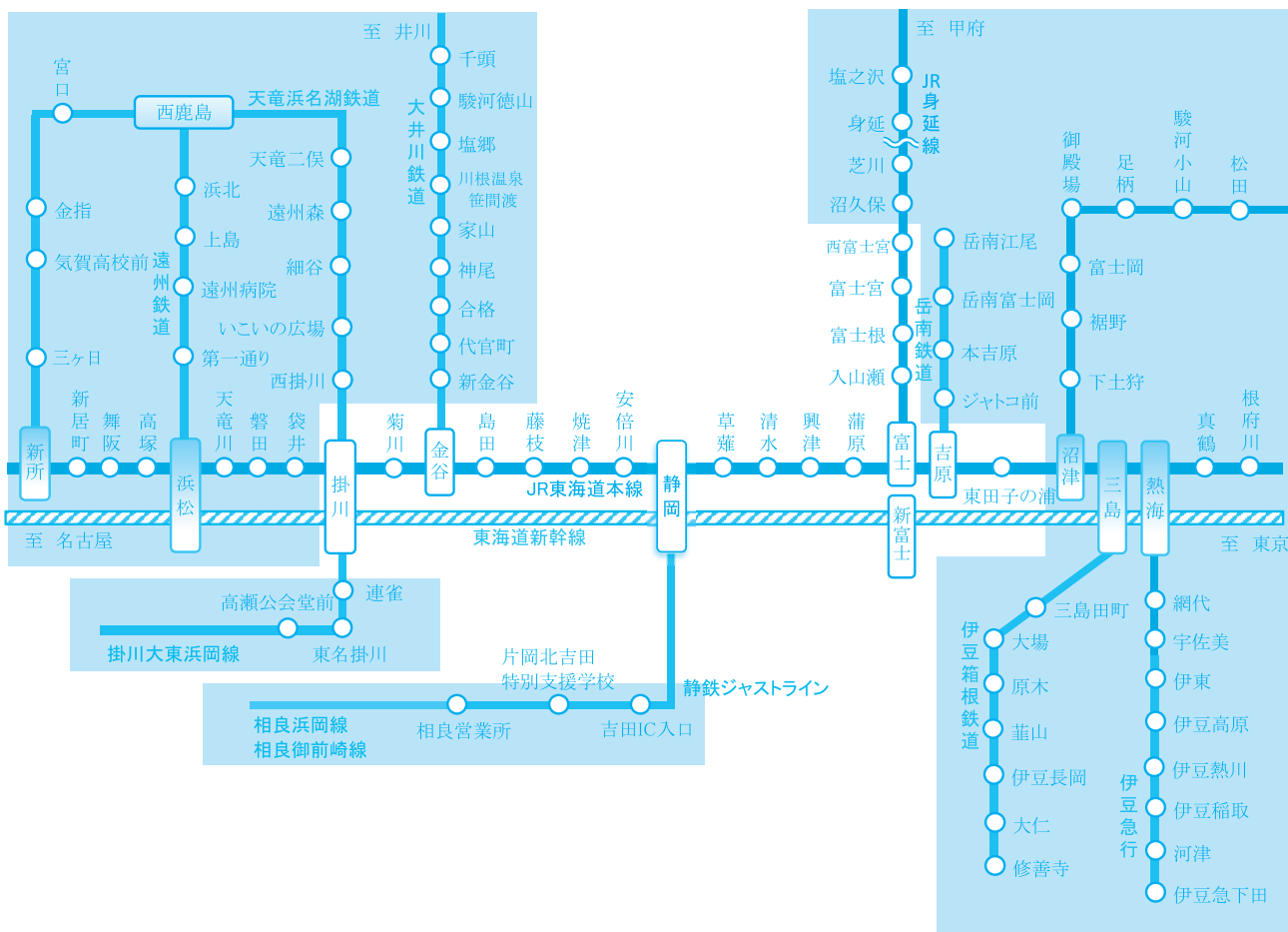
4は学年末、5は後期に支給されます。6は、後期学費より減免されます。(全納者には返納)

※全ての奨学金制度について、学業および生活面でふさわしくないと認められる場合は、特典が取消されます。

※奨学金は重複して支給されません。複数の対象となる場合は、金額の高いものが優先的に対象となります。ただし、5については重複して対象となります。

★遠隔地生活支援奨学生 適用範囲について

※主要駅及び、範囲切替の駅のみ記載させて頂きました。色付のエリアが適用となります。不明な点をご相談ください。



奨学金制度

② 公的奨学金

奨学金制度		給付額	返還期限	対象
授業料・入学金 減免型	日本学生支援機構 (文科省)	世帯収入により異なる 例<第I区分> 授業料上限59万円/年減免	返還義務はありません。	要件を満たす学生が支援を受けられます。 ・世帯収入や資産の要件を満たしていること 住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯 ・進学先で学ぶ意欲がある学生であること 成績だけでなくレポートなどで学ぶ意欲を確認 世帯収入等に応じた4区分の基準で支援額が決まります。 ※区分等の詳細は日本学生支援機構「高等教育の修学支援新制度」で検索の上、シミュレートできますのでご確認ください。
		世帯収入により異なる 例<第I区分・自宅通学> 26,700円/月	返還義務はありません。	
給付型	静岡市 篤志奨学金	100,000円(入学一時金)	返還義務はありません。	静岡市内に住所を有する方で、静岡市が定める選考基準を満たす方。

奨学金制度		給付額	返還期限	対象
貸与型	日本学生支援機構	第一種奨学金 (無利子) 通学の場合 30,000～53,000円/月額 自宅外通学 30,000～60,000円/月額 (選択)	それぞれの 借入金額に応じ 「奨学金返還年数 算出表」を用い、 決定致します。	人物・学業ともに優秀で、かつ経済的な理由により 修学が困難な学生に対して貸与されます。いずれも 在学する学科の修学年限終期まで借りることが出来 ます。
		第二種奨学金 (有利子:3%以下) 20,000～ 120,000円/月額 (選択)		学業が平均水準以上で修学に意欲があり、学業を確 実に修了できる見込みのある学生で、かつ経済的な 理由により修学が困難な者に対して貸与されます。
		入学時特別増額 貸与奨学金 (有利子:3%以下) 100,000～500,000円 (選択)		入学時、第一種奨学金や第二種奨学金の初回振 込みの時に、有利子の奨学金を増額して貸与できる 制度です。返済は卒業後で、入学前の貸与はできま せん。
	日本政策金融公庫 国の教育ローン (有利子:3.15%) ※令和7年5月1日現在	3,500,000円以内	15年以内 ※母子・父子家庭、交通遺児 家庭 または 世帯年収 2,000,000円以内の方は 18年以内	学校に入学・在学される方の保護者で世帯年間収入 が790万円(事業所得者は590万円)以内の方。 ※上記は扶養している子どもが1人の場合です。子ども の人数により異なります。
	静岡市育英奨学金 (無利子)	15,000円/月額	卒業後、貸与期間の 2倍 ※最長8年	保護者が静岡市内に住所を有する方で、修学能力が あると認められる方。 (篤志奨学金に決定した方は、育英奨学金の選考から外さ れます。ご注意ください。)

※申込み時期は奨学金の種類により異なりますが、新入生オリエンテーション時に説明致します。
 ※貸与型奨学金は、学生本人が将来的に返済する為、無理のない範囲内での返済計画が必要です。
 貸与額と返済額については、お気軽に本学奨学金アドバイザーにご相談ください。

A 入学金・学費について

	納入金額	納入時期	備 考
入学金	230,000円* (中村学園専門学校卒業者は免除)	合格時	合格通知に納付案内が同封されます。 納付期限は案内到着後、10日間です。事前にご準備ください。 入学金は理由の如何に関わらず、返還致しかねます。 *併願制度あり
学 費	996,000円 内訳／ 授 業 料：798,000円 施設設備費：198,000円	令和9年3月23日(火) ～4月9日(金) ①一括納入 ②③分割納入1回目※	【納入方法】 ①一括 ②2回分納/年(前期・後期) ③10回分納/年(前期5回・後期5回) ・その他ご不明な点やご相談はお問い合わせください。

※分割納入2回目以降は入学手続案内にて納付日を通知します。

B 諸経費について

項 目	納入金額	納入時期	備 考
教材費(学科により異なります)	(1年)約50,000円 (2年)約40,000円	前期分 5月 後期分 10月	学科により異なります。 詳細は時期に応じて通知させていただきます。
後援会費(全学科共通)	18,000円(年額)	毎年3月末～4月初	
学生24時間対応保険料(全学科共通)	7,000円(年額)	毎年5月	学校施設にいる間、通学途中、学校行事中、企業実習中等に起きた傷害事故や損害賠償金を補償します。前期教材費とともに納付していただきます。
海外研修・修学旅行費(全学科共通)	約300,000円	2年次	学生数や燃料費等の事情により金額が異なる場合があります。(全納もしくは分納)
免許・国家資格登録料(学科により異なります)	実費	各免許・資格登録時	
資格・検定試験の受験料(学科により異なります)	実費	各資格・検定受験時	
本学卒業時諸経費(全学科共通)	約50,000円	卒業年次	卒業記念品、同窓会終身会費を含みます。

※入学選考料及び入学金以外の納付金については、返還申し出によりその事情と状況により返還致します。

※ご不明な点等ございましたら、お気軽に巻末の連絡先までお問合せください。

C 携帯用パソコンの準備について

本学では、コンピュータの持つあらゆる機能を十分に熟知し、徹底的に使いこなす能力の養成を図るために、全員に携帯型パソコンをご用意いただいています。キャンパス内には、全フロアWi-Fi環境が整えられており、これにより全ての教室であら

携帯型パソコンのOS

OS Windows11またはmacOS Monterey以降

※その他必要なスペックにつきましては新入学生オリエンテーションで説明します。



ゆる授業や自主学習が行えるようになっております。この充実した環境を活用し、学生自身が自分所有のコンピュータを使用することで、より高い学習効果が得られます。

必要なアプリケーション/ソフトウェア

名称	Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint)	Adobe CC	Cubase elements
必要とする 学科・研究	全ての学科	音響&映像 メディアクリエイト学科 全研究	音響&映像 メディアクリエイト学科 音響エンタメ研究
		ITゲーム& ロボットシステム学科 ITスペシャリスト研究	ITゲーム& ロボットシステム学科 ゲームシステム研究

※不明点はお気軽にご相談ください。

Ⅷ. 「オープンキャンパス」「学校・学科説明会」「入学選考説明会」

2026年度 オープンキャンパス等開催日程・内容

オープンキャンパス 仕事のイメージ付けが、より具体的な学習へのアプローチにつながる!

	開催日	内容	時間	内容
2026年	4月 25日(土)		13:15 ~ 15:30	1. 仕事がイメージできる体験! 本学のオープンキャンパスでは、仕事体験を通じて、目指す分野、仕事についての理解を深めます。毎回異なる内容の体験授業を行っているため、定期的に参加することで、就きたい仕事の全体像をよりイメージできるようになります。 2. 多面的に仕事を体験! 気になる分野・学科が複数ある場合は、参加の学科を変えて複数回参加してみてください。 進路に迷うこと、相談等がありましたら、お気軽にご相談ください。 3. SPIオープンキャンパスは業界人、卒業生に本学学生も参加! 夏休みには各分野ごとの業界人、卒業生や本学学生から直接話を聞くことができるスペシャルオープンキャンパスを開催! 専門学校入学から就職、そして就職後のキャリアをイメージする機会として、ぜひご活用ください。 4. 入学までに職業観をイメージ付ける! 入学選考受験後もオープンキャンパスを活用できます。ステップアップレッシン(入学前特別指導)で入学までの課題を理解し、オープンキャンパスでそれに取り組みましょう! 4月に入学する頃には、専門学校で学ぶための土台づくりができています。 5. 学外の業界現場での体験も企画! 本学の長である「産学連携」を活かした体験も企画しています。詳細はHPに随時更新します。ぜひチェックしてください! ※各回の体験内容等の詳細につきましては、ホームページにてご確認ください。
	5月 16日(土)		13:15 ~ 15:30	
	5月 28日(木)		17:00 ~ 18:45	
	6月 13日(土)		13:15 ~ 15:30	
	6月 25日(木)		17:00 ~ 18:45	
	7月 4日(土)		13:15 ~ 15:30	
	7月 25日(土)	SPI	13:15 ~ 15:45	
	8月 8日(土)	SPI	13:15 ~ 15:45	
	8月 22日(土)	SPI	13:15 ~ 15:45	
	9月 10日(木)		17:00 ~ 18:45	
	9月 26日(土)		13:15 ~ 15:30	
	10月 8日(木)		17:00 ~ 18:45	
	10月 17日(土)		13:15 ~ 15:30	
	11月 7日(土)		13:15 ~ 15:30	
11月 26日(木)		17:00 ~ 18:45		
12月 12日(土)		13:15 ~ 15:30		
2027年	1月 23日(土)		17:00 ~ 18:45	
	2月 6日(土)		13:15 ~ 15:30	
	2月 20日(土)		13:15 ~ 15:30	
	3月 6日(土)	SPI	13:15 ~ 15:45	
3月 20日(土)	SPI	13:15 ~ 15:45		

「オープンキャンパス」・「学校・学科説明会、入学選考説明会」開催内容

- ①学校学科説明会 : 各学科の内容(取得資格、就職状況など)を詳しくお伝えします。
- ②体験授業 : 希望分野の「仕事」をイメージできる体験を行います。
- ③保護者対象説明会 : 本学の教育内容、学費、奨学金などを詳しくお伝えします。
- ④何でも個別相談会 : 進路、奨学金、学校生活など、個別で質問、相談できます。
- ⑤入学選考説明会 : 9月以降、入学選考内容について詳しく説明します。
出願をご希望の方は必ずご参加ください。質問もその場で受け付けます。

オープンキャンパス
予約はこちらから



上記日程にてご都合が合わない場合は、個別対応も可能です。以下から選択してご連絡ください。

- A : 個別相談会(来校型) : 校舎へご来校いただき、個別で説明、相談を実施します。
- B : 個別相談会(オンライン) : 遠方の方、時間に制限がある方はオンラインで説明、相談を実施します。
Zoomを使用しますので、Wi-Fi環境等にご注意ください。

中村学園 沿革 [職業教育75年の専門学校]

昭和26年	私塾として服飾教室を開校	平成20年	ICT総合専門・職業教育プログラム導入「ICT情報システム学科」・「ICT情報デザイン学科」設置
昭和27年	中村技芸専門学院設置認可、開校	平成22年	医療・福祉と高度情報技術のコラボレートによる「医療情報システム学科」設置 文部科学省「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」に参画開始
昭和47年	学校法人中村学園設置認可 姉妹校第一ひかり幼稚園設置認可、開園	平成24年	実践的職業教育創立60周年記念事業開催
昭和51年	静岡服飾専門学校と改名認可	平成25年	ICTに関するあらゆるニーズに対応できる新教育システム構築
昭和60年	静岡電子専門学校・専門学校静岡スクールオブビジネス 両校設置認可	平成26年	文部科学大臣 職業実践専門課程認定校 厚生労働省「教育訓練給付制度」認定校
昭和61年	ICT南町キャンパス完成、両校開校	平成27年	ロボット創造学科、ゲーム応用学科、映像・音響デザイン学科へ学科改編
平成7年	文部省「専門士」称号付与認定校	平成28年	専門学校創立30周年記念事業開催
平成9年	バリアフリー森下町キャンパス完成	平成30年	音響&映像メディアクリエイティブ学科 2研究、ITゲーム&ロボットシステム学科 3研究に学科改編
平成10年	静岡電子専門学校・専門学校静岡スクールオブビジネス両校を統合し、 専門学校静岡電子情報カレッジ開校・ 静岡福祉医療専門学校設置認可、開校	令和元年	「高等教育の修学支援新制度」認定校
平成11年	「大学編入学資格付与」認定校	令和2年	「CANスカラシップ」N-Cap 新学生生活支援制度設置
平成14年	文部科学省 専修学校ITフロンティア教育推進事業 「Linuxエンジニア育成支援プログラム」 産学連携開発	令和5年	学校法人中村学園創立50周年記念事業開催
平成15年	ITメディアキャンパス本館 全面リニューアル アートメディア工房、レコーディングスタジオ完成 文部科学省「専修学校先進的教育研究開発事業指定校」に認定	令和8年	AI×DXプロデュース専攻科設置
平成16年	県内初の専攻科「テクニカル研究科」設置		

文部科学大臣認定「職業実践専門課程」として認定！
—「産学官連携教育プログラム」による実践教育—

本学は社会の人材ニーズに応え、「職業実践専門課程」として文部科学大臣より認定され、各業界と連携した実習・実技等のカリキュラムを通して実践的に学ぶ「産学官連携教育プログラム」により、最新の「専門的な知識・技術・技能」だけでなく、「社会人基礎力」や「問題発見・解決力」等を身につけることができます。

「学校関係者評価委員会」・「教育課程編成委員会」・「キャリア形成促進プログラム教育課程編成委員会」を開催して、カリキュラムや学生指導方針が毎年ブラッシュアップがされています。委員会構成メンバーは各業界のプロと本学教員で、相互に情報交換がなされます。

■各業界と連携した実践的な教育

職業実践専門課程として認定されている専門学校では、企業等と連携したカリキュラム作成や、実習・演習等を実施しています。そのため、実際に働くことを意識しながら、実践的かつ専門的な知識・技能を身につけることができます。

【学生にとっての魅力】

- ①企業等のニーズを反映したカリキュラムを学べます。
各業界のプロが授業を担当することで、学内外で最新の知識・技術を得られます。
- ②企業等と連携した実習・演習等を経験できます。
現場での経験が就職活動での雇用のミスマッチ解消にも繋がります。

個人情報の取り扱いについて

専門学校静岡電子情報カレッジは、「個人情報保護法」に基づき、個人情報を取り扱います。

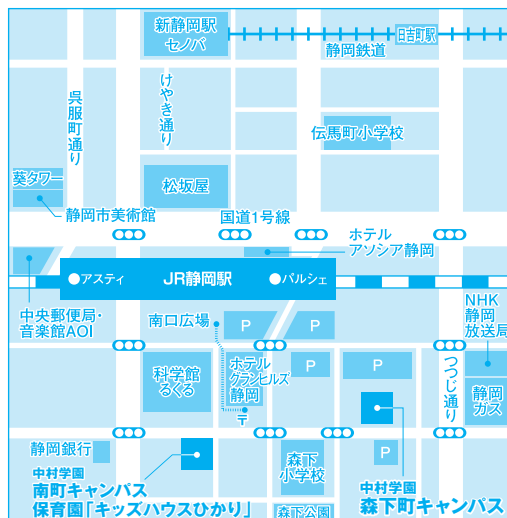
1. 出願にあたり知り得た氏名、住所、その他の個人情報は、①入学選考(出願処理、選考実施)、②合格者発表、③入学手続き業務を行うために利用します。

2. 出願にあたり知り得た個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、奨学生制度申請等)、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。
3. 出願にあたり知り得た個人情報は、出願者出身高校に提出することがあります。

夢が叶う街中キャンパス

JR静岡駅南口より徒歩3～5分

静岡鉄道「新静岡駅」・「日吉町駅」徒歩10～12分



専門学校 静岡電子情報カレッジ

文部科学省「専門士」称号、「大学編入学」資格付与認定校
文部科学省「職業実践専門課程」、「高等教育修学支援新制度(授業料減免)」認定校
文部科学省「外国人留学生キャリア形成促進プログラム」認定学科
厚生労働省「教育訓練給付制度」認定校

〒422-8067 静岡市駿河区南町13-5

併設校

静岡福祉医療専門学校

文部科学省「専門士」称号、「大学編入学」資格付与認定校
文部科学省「職業実践専門課程」、「高等教育修学支援新制度(授業料減免)」認定校
厚生労働省「介護福祉士、社会福祉士(実務1年要す)、視能訓練士」受験資格付与認定校
厚生労働省「保育士、社会福祉主事」付与認定校
豊岡短期大学こども学科併修:「短期大学士」学位・「幼稚園教諭二種」教員免許状取得
厚生労働省「教育訓練給付制度」認定校

〒422-8061 静岡市駿河区森下町4-25

■ 子ども心理学科付帯施設

保育園キッズハウスひかり

姉妹校

幼稚園型認定こども園 第一ひかり幼稚園

〒420-0949 静岡市葵区与一5丁目3-25

中村学園専門学校総合インフォメーション

〒422-8061 静岡市駿河区森下町4-25

※学校説明会、体験入学などのご参加、その他お問い合わせは、下記までご連絡ください。

TEL.054-280-0173 FAX.054-280-0174

E-mail:info@can.ac.jp



WEBサイトでは、オープンキャンパス・学校説明会などの情報も随時掲載中!!

静岡電子

検索

<https://www.can.ac.jp/denshi/>